

関東地区福祉研究発表会 実施要綱

- 1 目的 関東地区の高等学校で福祉を学ぶ高校生が、学校という枠を越えて学ぶ機会を通して、日頃から学習してきた知識や技術を基礎とし、さまざまな視点から、自立生活支援の過程や方法を創造し、福祉を深く考察する力や課題発見、研究等の様々な能力を育成することを目的とする。
また、関東地区内で福祉を教授する教員の指導力向上の場とする。
- 2 主催 関東地区福祉高等学校長会
- 3 実行委員会
開催県会長校の校長を実行委員長とした「関東地区福祉研究発表会実行委員会」を組織し、都県代表学科主任等がメンバーとなり、実行委員会として企画・運営にあたる。なお、実行委員会は運営の手引きを参照し、実施要項を作成する。
- 4 実施方法
 - (1) 介護技術部門
 - ①出場資格 関東地区内の高等学校で福祉を学ぶ生徒（1チーム同一校2～3名とし、競技は2名とする。）
 - ②利用者役 福祉の高等学校教員・生徒
 - ③課題 「A 身じたくの支援 B 移動の支援 C 食事の支援 D 排泄の支援 E レクリエーションの支援」のうち1つまたはA～Eを組み合わせた課題を実行委員会の作問担当が作成する。
 - ④時間 実行委員会で決定する。原則として、全国大会に準ずる。
 - (2) 福祉研究部門
 - ①出場資格 関東地区内の高等学校で福祉を学ぶ生徒（1チーム同一校複数名を可能とし、発表者は最大3名とする。）
 - ②発表方法 プレゼンテーションを行う。
 - ③課題 テーマはフリーとする。
 - ④時間 10分間とする。
- 5 審査方法
 - ①審査 評価項目を参考に総合的に審査し、順位づけを行う。
評価項目については、実行委員会の審査部が作成する。
 - ②審査員 高等学校の福祉教育に理解の深い学識経験者・現場経験者・高等学校教員等をもってあてる。原則として、審査員複数名で審査にあたる。なお、審査員は、開催都県で推薦し、関東地区福祉高等学校長会会長が委嘱する。
- 6 表彰 各部門で、最優秀賞1チーム、優秀賞1チーム、その他各種賞が授与される。
※介護技術部門について最優秀賞受賞校は、後日開催される、全国高校生介護技術コンテストに出場する権利を有する。優秀賞受賞校は、全国高校生介護技術コンテストの出場補欠の権利を有する。
- 7 その他
 - (1) 個人情報については、発表会の運営管理の目的に使用し、事前に生徒・保護者に理解を得る。
 - (2) 広報及び記録のため、主催者側で動画及び写真の撮影を行う。

附則

- 1 この規定は、令和 4年 12月 2日から施行する。
- 2 この規定は、令和 7年 6月 20日から施行する。
- 3 この規定は、令和 7年12月 26日から施行する。

令和8年度 関東地区福祉研究発表会実施要項

- 1 目 的 関東地区の高等学校で福祉を学ぶ高校生が、学校という枠を越えて学ぶ機会を通して、日頃から学習してきた知識や技術を基礎とし、さまざまな視点から、自立生活支援の過程や方法を創造し、福祉を深く考察する力や課題発見、研究等の様々な能力を育成することを目的とする。
また、関東地区内で福祉を教授する教員の指導力向上の場とする。
- 2 主 催 全国福祉高等学校長会関東地区校長会
- 3 共 催 千葉県高等学校教育研究会福祉教育部会
(実行委員会事務局：千葉県立松戸向陽高等学校)
- 4 後援予定 千葉県教育委員会、千葉県社会福祉協議会、千葉県健康福祉部健康福祉指導課
- 5 協 賛 敬愛大学、ふくしコンソーシアムちば、株式会社ベネッセスタイルケア
- 6 日 時 令和8年8月27日（木） 13：00～16：30
8月28日（金） 9：00～15：00
- 7 会 場 敬愛大学
〒263-0024 千葉県千葉市稲毛区穴川1丁目5-21
※キャンパス内に駐車場はないため公共交通機関をご利用ください。
- 8 審査規定 実行委員会で作成中
- 9 日 程 第1日目 8月27日（木）
12:30～13:00 受付
13:00～13:30 開会式
13:40～16:10 福祉研究部門発表（8校参加の場合）
16:15～16:20 諸連絡
16:25～16:35 介護技術部門会場下見（選手）

第2日目 8月28日（金）
8:30～9:00 受付
9:20～9:30 競技上の注意伝達
10:00～12:05 介護技術部門発表
12:30～13:30 昼食
13:30～14:00 交流会・審査
14:10～14:40 閉会式
14:50～15:00 写真撮影
(※参加団体数により終了時刻は前後します。現時点の予定時刻です。)
- 10 出場者 【福祉研究部門】
関東地区内及び各道府県の高等学校で福祉を学ぶ生徒
(1チーム同一校複数名を可能とし、発表者は最大3名とする。)
【介護技術部門】
関東地区内の高等学校で福祉を学ぶ生徒

(1チーム同一校2～3名とし、競技は2人とする。)
※介護技術部門、福祉研究部門を重複して出場することを認める。

11 参加申込

申込〆切は8月4日(火)正午とし、下記のQRコードより登録すること。

【福祉研究部門】

各都県代表校1校とする。関東地区以外についてはオープン参加とする。(上限3校まで先着順とする)

【介護技術部門】

各都県代表校1校とする。

※本部門においては、前年度最優秀賞校枠、開催県枠を設ける。



12 審査方法

審査は実行委員が作成した指針を参考に審査を行う。
介護技術部門、福祉研究部門ともにプレイスナンバー方式で順位を決定する。
疑義が生じた場合には、審査員、実行委員で協議し実行委員長の承認を得る。

【順位が同じ場合について】

両校を比較し、良い順位を付けた審査員が多い学校が順位が上になる。

審査員

【福祉研究部門・介護技術部門】

- ・一般社団法人 千葉県介護福祉士会
副会長 曾我 敦子 様
- ・国際医療福祉大学 介護福祉特別専攻科
専攻科長 松山 美紀 様
- ・一般社団法人 千葉県介護福祉士会
理事 松川 典代 様
- ・栃木県立矢板高等学校
教諭 田中 彩希 様
- ・東京都立野津田高等学校
教諭 川井 奈保子 様
- ・埼玉県立小鹿野高等学校
教諭 池田 温 様

※各都県大会終了後、委嘱されます。

【福祉研究部門】

- ・聖徳大学 心理福祉学部社会福祉学科
教授 池田 静香 様

【介護技術部門】

- ・聖徳大学 心理福祉学部社会福祉学科
准教授 石井 紀子 様

13 表彰

各部門で、最優秀賞1チーム、優秀賞1チーム、その他、研究部門の出場生徒による投票において、1番多く票を集めた学校には生徒賞を授与する。

※オープン参加した各道府県の学校には、全国福祉高等学校長会関東地区校長会特別賞を授与する。

※介護技術部門について最優秀賞受賞校は、後日開催される、全国高校生介護技術コンテストに出場する権利を有する。優秀賞受賞校は、全国高校生介護技術コンテストの出場補欠の権利を有する。

14 来 賓

- ・文部科学省初等中等教育局高等学校振興課産業教育振興室
教科調査官 辻本 智加子 様
- ・厚生労働省社会・援護局 福祉基盤課福祉人材確保対策室
室長 芦田 雅嗣 様
- ・厚生労働省社会・援護局 福祉基盤課福祉人材確保対策室
介護福祉専門官 午頭 潤子 様
- ・厚生労働省社会・援護局 福祉基盤課福祉人材確保対策室
介護人材定着促進専門官 金山 峰之 様
- ・一般社団法人 千葉県介護福祉士会
会長 八須 祐一郎 様
- ・千葉県健康福祉部健康福祉指導課福祉人材確保対策室
室長兼主幹 加藤 由恵 様
- ・千葉県健康福祉部健康福祉指導課福祉人材確保対策室
主事 相田 紗希 様
- ・千葉県教育庁企画管理部教育政策課
課長 最上 健史 様
- ・千葉県教育庁企画管理部教育政策課高校改革推進室
室長 伊藤 将司 様
- ・千葉県教育庁企画管理部教育政策課高校改革推進室
主査 高尾 昂平 様
- ・千葉県教育庁教育振興部学習指導課
課長 神田 みのり 様
- ・千葉県教育庁教育振興部学習指導課
指導主事 小林 亮太 様
- ・敬愛大学
学長 中山 幸夫 様
- ・淑徳大学総合福祉学部 社会福祉学科
教授 矢幅 清司 様
- ・千葉県福祉関係高校人材育成支援チームふくしコンソーシアムちば
会長 佐久間 敦子 様
- ・学校法人 滋慶学園
教育顧問 白井 孝子 様

14 課 題

【福祉研究部門】

福祉に関することとし、テーマは自由

発表時間 10 分間

【介護技術部門】

8 月上旬に発表される 1 段階課題を元に、当日発表される 2 段階課題について検討し介護技術の発表を行う。

検討時間 25 分間 発表時間 7 分間 アピール 2 分間

15 その他

- ・今後のスケジュール、1 段階課題の発表、スライドの提出等については別途通知する。
- ・参加者は全国福祉高等学校長会ホームページ（関東地区のページ）を随時確認すること。

<問い合わせ先>

関東地区福祉研究発表会実行委員会事務局

千葉県立松戸向陽高等学校

福祉科 江口 祐樹

電話 047-391-4361

Mail y.egch10@chiba-c.ed.jp